

ひびき合い輝く子
～かしこく、やさしく、たくましく～

名寄市立名寄小学校コミュニティー通信 第10号

令和6年1月31日



ピヤンリ・こぶし

名寄市立名寄小学校

〒096-0011 名寄市西1条南1丁目2番地
TEL: (01654) 3-3304 FAX: (01654) 3-3305
ホームページ: http://www.city.nayoro.lg.jp/school/s_nayoro/



『日常の幸せをかみしめて』

校長 大谷 和 範

23日間の冬休みは、子どもたちが「自分を大切に」過ごしてくれていたようで、大きな事故等の連絡も無く、18日には3学期の始業式が行われました。

一方、1月1日に能登半島地震が発生し、多くの小中学校では、始業式が行えない状況になっていました。今は、少しずつ再開されてきているようです。授業をまともに行える状況ではありませんが、子どもたちが「みんなに会えるの楽しみ！」とインタビューに答える姿がありました。こうした災害は無いにこしたことはありませんが、だからこそ、友達の大切さを実感できたのかもしれない。

私が印象に残る地震でいうと、平成5年の南西沖地震、平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災があります。南西沖地震では、中体連陸上の全道大会に参加予定の選手が棄権することとなりました。また、阪神淡路大震災では、前の年にバスケットボールの全国大会が行われ、私が務めていた学校に練習しに来ていた生徒が被害に遭ったという話を聞きました。また、東日本大震災では、3月11日という日程から、卒業式が話題となりました。卒業式を控えている学校も多くあり、卒業証書を家に届けたという学校もあったようです。私は卒業生を送る会の最中でした。

始業式にも触れましたが、全員が無事で、予定通り始業式が行えることは、当然のようであり、実は幸せなのだと思います。そんな日常の幸せをかみしめながら、学校生活を充実させていきたいものだと思います。



『命を守るために』

能登半島地震の翌日、羽田空港で航空機同士の接触事故がありました。民間機の乗客乗員379名が全員脱出したことは、奇跡とも呼ばれています。その後の燃え方を見ると本当に奇跡だと思います。何故、全員が脱出できたのか？いろいろな番組で取り上げられていましたが、乗務員がしっかりと訓練を行っていたことや主体的な判断が大切なことは言うまでもありません。もう一つ大切なことは、落ち着いて乗客が指示に従い動いたことだそうです。落ち着いて指示に従うことが、みんなの命を救います。荷物も諦める勇気が必要です。自然災害と同じで、無いのが一番ですが、心にとめておくことも必要だと思いました。避難後の人数確認の方法についても参考になった事案でした。

教育活動の様子

3学期始業式 1/18(木)

子どもたちの元気な「おはようございます」が体育館に響き、名寄小学校の3学期が始まりました。スッキリタイムを活用した始業式では、児童会副会長の6年生林伽彌さんが代表であいさつし、「6年生は全力で卒業式に向かっていくので、1～5年生も全力で新しい学年へ向かっていきましょう！」と全校児童に呼びかけました。意欲に満ちたスタートとなりました。



「野球しようぜ」 by 大谷翔平 選手

メジャーリーガー大谷翔平選手から贈られたグローブが、名寄小学校にも届きました。始業式で大谷校長先生より紹介され、子どもたちから歓声が上がりました。その後、6年生から順番に教室を回り、子どもたちがじっくり見たり、触ったりしたりできるようにします。全学年を回った後、一定期間展示し、体育の授業などで実際に使用できるようにします。さあ、みんなで野球しようぜ！



避難経路確認 1/19(金)・26(金)

避難訓練の一環として、冬季の避難経路の確認をしました。冬季は積雪のため、グラウンドに避難できません。そのため、校舎から外へ出た後は、除雪された道を通り、児童玄関前か校舎北側駐車場に避難する必要があります。災害は、季節を選ばずにやってきます。どんなときでも、自分の身を守る行動ができるよう、練習していきたいと思います。



日	曜	2月の行事予定
1	木	B日課 街頭指導 3・4年スキー学習① 名寄東中学校入学説明会
2	金	ALT(3～6年)
3	土	
4	日	
5	月	B日課[職員会議①] 2年スキー学習①
6	火	B日課[分掌会議①] 3・4年スキー学習② 5年デジタル教科書授業実践
7	水	朝会
8	木	B日課 4年校外学習(きたすばる)
9	金	新1年生一日入学 ALT(3～6年) 4年校外学習(雪質日本フェスティバル会場)
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	B日課[全学年打合せ] 2年スキー学習②
14	水	委員会活動⑫(後期反省) 読み聞かせ⑪ 3年校外学習(北国博物館) 設置連卒業・進級・進学を祝う会
15	木	B日課[分掌会議②] 1年スキー学習①
16	金	ALT(3～6年)
17	土	
18	日	
19	月	B日課
20	火	B日課
21	水	6年中学校授業体験(出前授業)
22	木	B日課5時間[職員会議②]
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	B日課[全学年打合せ]
27	火	参観日(1・3・5年) 1・3年PTA ガラス拭き 5年PTA 学年レク
28	水	参観日(2・4・6年)
29	木	B日課[研修①](成果と課題)]

2月

<生活目標> 寒さに負けない強いからだをつくろう

<帰宅時刻> 16:00

<ノーゲームデー> 4日、18日 ※第1・3日曜日

■ まとめり下校 1/19(金)

今年度最終の「まとめり下校」を実施しました。今回で3回目となり、子どもたちも、もうベテランです。しかし、慣れてきたときこそ、油断しないよう気を付けなければなりません。冬季の危険箇所をしっかりと確認しながら下校し、気付いたところを安全マップに追加していきます。また、名寄小学校安心会議の皆様にご協力いただき、「子ども110番の家」を再確認しています。まとめり次第、安全マップを更新する予定です。



■ 学校評価アンケート(後期)の結果報告

12月に実施した学校評価アンケートの結果と改善の方策を掲載しました。回答にご協力いただきまして、ありがとうございました。よりよい教育活動を行うためには、保護者・地域の皆様のご協力が必要となります。今後とも、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

■ 名寄小スクールバンドアンケートの結果報告



スクールバンド継続に関するアンケートにつきましても、結果とスクールバンド継続の方向性を掲載しましたので、併せてご確認ください。たくさんの方にご意見をいただきまして、大変感謝しております。スクールバンドに関しましても、変わらぬご理解とご支援をいただきますよう、併せてお願い申し上げます。

PTA活動、地域との連携活動の様子

■ 第3回名寄小・名寄東中学校運営協議会の報告 1/12(火)

【主な議事】

- 1 名寄小学校・名寄東中学校 学校評価<後期>について
○名寄小学校の評価結果を掲載しています。別紙をご参照ください。
- 2 名寄小スクールバンドについて
○スクールバンドアンケートの結果や PTA 本部役員会の協議結果をもとに、名寄小スクールバンドの歩みや、今後の方向性について意見交流を行いました。



■ スキー学習用築山完成！(北建工業様)

地域貢献活動として、名寄市の企業である北建工業(株)様に立派な雪山を作っていただきました。雪山は低学年のスキー授業や、休み時間における雪山遊びなど、北海道ならではの冬の学習や遊びに大いに活用させていただきます。ありがとうございました。



令和5年度 名寄小学校学校評価（後期）まとめ①

1学期末に実施しました学校評価(前期)アンケートの結果をお知らせいたします。

アンケート調査の項目から重点を絞り、教職員・児童・保護者の相関関係について次のとおりまとめました。よりよい教育活動を行うためには、学校の努力に加え、保護者・地域の皆様のご協力が必要となります。今後とも、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

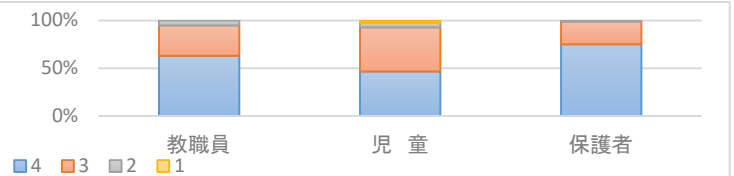
4: そうだと思う 3: 少しそうだと思う 2: あまりそうではないと思う 1: そうではない

1 年度の重点経営方針の実現状況

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

教職員	家庭や地域との連携を意識し、信頼と協力を獲得することができるよう取り組むことができたか。
児童	自分から、元気にあいさつをしていますか。
保護者	学校は、学校だよりや学年・学級通信を通して、教育活動や必要な情報を分かりやすく伝えていきますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%	3.6
児童	46.8%	46.2%	5.1%	1.9%	3.4
保護者	75.3%	23.5%	1.2%	0.0%	3.7



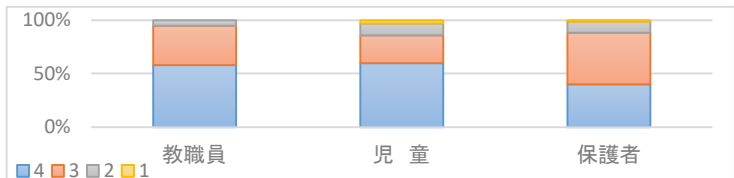
・学校は、家庭・地域に向けて教育活動を発信するよう努力しており、保護者の皆様にも概ね認めていただいております。
 ・「元気のよいあいさつが十分ではない」と感じている児童も見られます。

改善) 情報の積極的な発信を継続すると共に、あいさつ指導を大切に、児童・教職員共に気持ちよくあいさつできる学校を目指して努力していきます。

(3) 教育目標の具現化を目指すカリキュラム・マネジメント

教職員	児童が意欲的に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる教育課程の編成・実施・評価・改善に取り組むことができたか。
児童	自分から、家庭学習に取り組んでいますか。
保護者	お子様は、ご家庭において、学習する習慣が身に付いていますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	3.5
児童	59.6%	26.3%	10.9%	3.2%	3.4
保護者	40.0%	48.2%	10.6%	1.2%	3.3



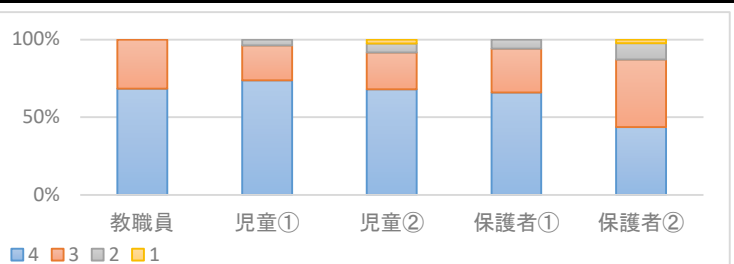
・学校は、児童の学習意欲や学力の向上を目指して授業改善に継続して取り組み、児童の学習成果につなげています。
 ・「家庭での学習が十分ではない」と感じている児童・保護者の方も見られます。

改善) 家庭学習チェックシートの取組を振り返り、児童・保護者と共通理解を図った取組を進めていきます。

(4) 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる学年・学級経営

教職員	児童相互のよりよい人間関係を育てる学年・学級経営の充実に向けて取り組むことができたか。
児童	先生は、あなたのよいところをほめてくれますか。 学校生活は、楽しいですか。
保護者	学校は、子どものよさや頑張りを認め、安心できる学級づくりに努めていますか。 お子様は、毎日学校へ行くことを楽しみにしていますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	3.7
児童①	73.7%	22.4%	3.8%	0.0%	3.7
児童②	67.9%	23.7%	5.8%	2.6%	3.6
保護者①	65.9%	28.2%	5.9%	0.0%	3.6
保護者②	43.5%	43.5%	10.6%	2.4%	3.3



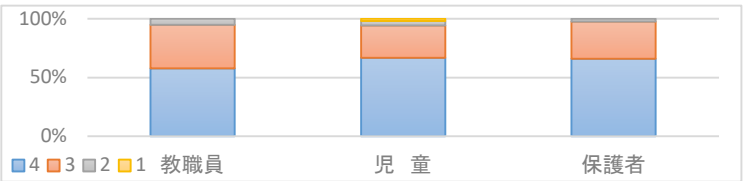
・多くの児童は、「先生が自分のよいところをほめてくれる」と感じていて、学校生活を楽しんでいる様子が見られます。
 ・教師にさらなる関わりを求めていたり、学校生活に課題を感じていたりする児童も見られます。

改善) 児童や保護者からの相談を積極的に受けるなど、全教職員で児童理解に重点をおいた学級・学年・学校経営に取り組んでいきます。

(5) キャリアステージに応じて求められる資質を高める研修活動

教職員	自身のキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めるよう取り組み、授業改善に生かすことができたか。
児童	授業は、わかりやすいですか。
保護者	学校は、子どもの学力向上に向け、丁寧な授業を行っていますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	3.5
児童	66.7%	27.6%	3.8%	1.9%	3.6
保護者	65.9%	31.8%	2.4%	0.0%	3.6



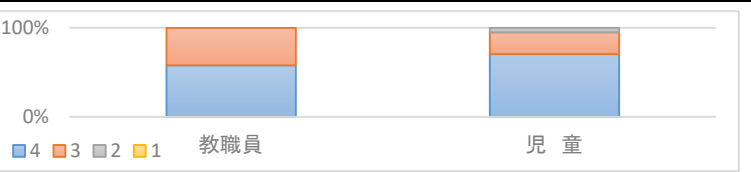
・学校は、児童の学力向上を目指して授業改善に取り組んでおり、保護者の皆様からも概ね認めていただいております。
 ・授業を「わかりやすい」と感じている児童が多い反面、学習に困り感を抱いている児童も見られます。

改善) 標準学力検査等の結果を授業改善に生かすと共に、学習・生活支援員と連携して個に応じた指導を心がけていきます。

(7) 組織で取り組む危機管理

教職員	生命の尊さを自覚し、校内外の事故から自らを守る能力(危機予知能力)を高める指導の充実を図ることができたか。
児童	「手洗い」などの感染予防や、車に気を付けるなど、安全な学校生活を送っていますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	3.6
児童	70.5%	24.4%	5.1%	0.0%	3.7



・学校は避難訓練や安全指導など、保護者・関係機関と連携して児童の安全意識の向上と安全を守る取組を実施し、児童も意識できています。
 ・インフルエンザ等感染症の蔓延により、学年・学校閉鎖の実施につながることもありました。

改善) 各種感染症の状況について早めに情報を把握し、感染防止対策を常に見直して対応していきます。

2 年度の指導の重点の実現状況

(3) 個と集団のよさを実感する特別活動（生徒指導）

教職員	よりよい学校や学級、ねらいを明確にした学校行事を創り上げようとする自主的・実践的な態度を育むことができたか。
児童	あなたは、自分のよいところがわかりますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	3.7
児童	53.8%	28.8%	14.1%	3.2%	3.3



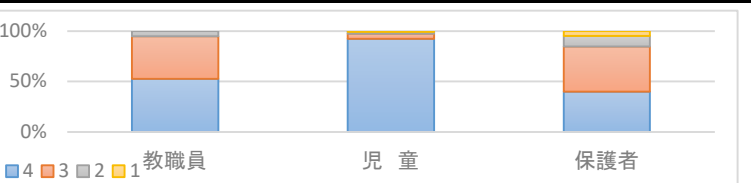
・学校は様々な教育活動を通して、個や集団のよさを実感できるよう指導の充実に取り組み、児童の成長につなげています。
 ・自分のよさを素直に認められないなど、自己肯定感が高まらない児童も見られます。

改善) 児童が相互に認め合う活動や、様々な教育活動を通して自己有用感を高められるよう取り組むと共に、全教職員が児童一人一人を認め、誰もが自信をもてるよう指導していきます。

(5) 自己をよりよく導く生徒指導

教職員	基本的な生活習慣の定着や規範意識を高める生徒指導の充実に向けて取り組むことができたか。
児童	いじめは、絶対にゆるされないことだと思いますか。
保護者	学校は、いじめの根絶や豊かな人間性を育む取組を行っていますか。

	4	3	2	1	R5後期平均
教職員	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%	3.5
児童	92.3%	5.1%	1.9%	0.6%	3.9
保護者	40.0%	44.7%	10.6%	4.7%	3.2



・学校はいじめ・不登校問題に対し、改善を目指して組織的に取り組むなど、生徒指導の充実に向けて努力しています。
 ・いじめ根絶の取組に対し、十分ではないと感じている保護者の方も見られます。

改善) 学校の「いじめ防止対策推進計画」を積極的に情報発信し、保護者・地域の皆様にご協力いただきながら、いじめの根絶を目指して努力していきます。

令和5年度 名寄小学校学校評価（後期）まとめ②

上段： 保護者の皆様にご意見・ご要望を抜粋して掲載しています。
下段： いただいたご意見・ご要望に対する改善の方向性を説明しています。

ご意見・ご要望等

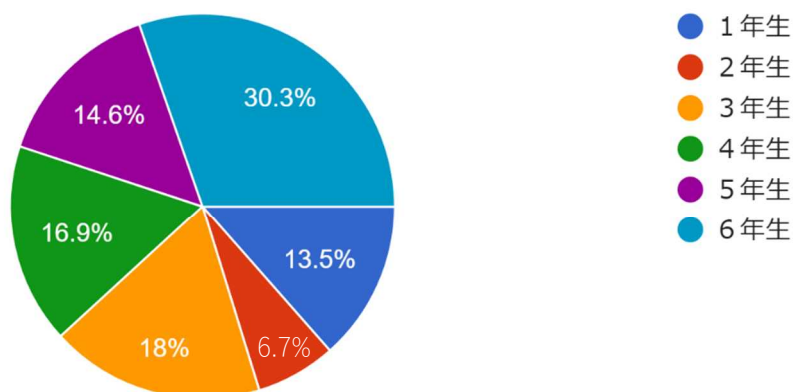
- ・毎日、宿題を丁寧に見たり、個に配慮したメッセージを書いたりしてくださることに感謝している。日々の積み重ねで、子どもの意識づけや意欲の向上に繋がっている。
- ・いつも子どもの気持ちに寄り添い対応していただいていることに感謝している。
- ・学級通信は、日頃の子どもの様子を知ることができ、楽しみにしている。大変な労力だと思うが、毎週発行してくださることに感謝している。ありがとうございます。
- ・いつも大変お世話になっております。校長先生をはじめ、先生方の子供たちへの寄り添いで、毎日学校へ通うことができている。何より、担任の先生が心を通わせてくれていて、子どもは家庭でも学校や先生の話たくさんしている。本当にありがとうございます。
- ・男子児童によるからかいがあると聞いたことがある。大きな問題になる前に対応していただけると、より安心して学校に通わせることができると思う。
- ・いつも子どもの気持ちに寄り添って対応してほしい。
・欠席が続いて習っていない部分があるときは、その部分を教えてほしい。
- ・麺を復活させるなど、給食にもっと楽しみを増やしてほしい。食育も充実させてほしい。
- ・冬季の登校時の解錠が遅いときがあった。
・図書室の本を借りられる日数を増やしてほしい。
- ・先生も子どもたちに対する言葉遣いに配慮してほしい。
・いじめ対策をしているというが、実際どのように行われているのか不透明だと思う。言葉によるいじめについて、もっと対策を講じてほしい。
- ・高学年の女子トイレに、小物が置けるように棚を付けてほしい。
- ・アンケートのほとんどの質問に関して、どうなっているかわからないと感じた。学校からの情報が多くないのかもしれない。不信感を抱いているわけではないが、質問の答えに「わからない」があると助かると思う。

課題に対する改善の方向性

- ・本校のいじめ対策は、「名寄小学校いじめ防止対策推進計画」に則って実施しています。学校ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧になってください。また、児童を対象としたアンケートや教育相談、保護者の皆様との個人懇談なども実施し、一人一人を大切にされた対応を心がけています。
・いじめに関する相談は、学級担任の他、相談しやすい教職員に遠慮せずご相談ください。
- ・言葉遣いは、学校・家庭・地域のどの場面においても、丁寧さを心がけて指導していかなければなりません。私たち教師は、子どもたちに指導する立場の者として、不適切な言葉遣いとならないよう、今後とも十分気を付けてまいります。
- ・本校では、栄養教諭による食育指導(年2回)を全学年で実施しています。また、給食時間に栄養教諭が教室に入り、給食指導を行う機会も設けています。その他に、「名小はしの日」(月1回)を設定したり、献立を紹介する「モグモグメモ」(月1回)を配付したりと様々な取組を行っていますので、今後、学校だより等で積極的に発信していきます。
・学校の取組についても、情報が多くないとのこと指摘がありました。保護者・地域の皆様にご理解いただけるよう、わかりやすい発信を心がけてまいります。
- ・欠席等で学習が遅れてしまった場合、学校として何らかの対応を行います。お子さんの発達段階や、学習内容によっても対応が異なりますので、個別に相談させていただきます。
- ・児童玄関の解錠時刻については、遅くならないよう気を付けてまいります。
・その他いただいたご意見につきましても、検討させていただきます。

名寄小スクールバンドの継続に関するアンケート（結果）

1 お子さんの学年をお答えください。（89件の回答）



2 保護者様のお名前をご入力ください。
※省略いたします。

3 資料をお読みになった上で、次年度以降の名寄小S Bをどのように継続していくことが望ましいと考えますか。次の項目より選んでください。（89件の回答）



<まとめ>

- お忙しい中、本アンケートの回答にご協力いただきまして、ありがとうございました。
- 保護者の皆様の名寄小スクールバンドに対する思い入れの強さを改めて感じました。
- 「管楽器を維持したまま継続」というご意見も多くいただきました。そのために必要となる改善策についても、様々な方向から考えていただき、大変感謝いたしております。
- 「複数学年で実施」とのご意見もいただきましたが、他の学年の授業時数を圧迫してしまうことや、指導者がさらに不足してしまうこととなります。また、現状でも5年生3学期より練習を開始しているため、今よりも時期を早めて練習する必要があります。そのため、複数学年で

の実施はかなり困難です。

- 「段階的に変更して継続」、「一斉に変更して継続」というご意見では、理由として、「子どもたちの負担軽減」「授業時間の確保」「子どもたちが扱いやすい楽器で」などの考えが寄せられました。管楽器にこだわらず、他の楽器でもすばらしい演奏ができるのではというものでした。
- 「外部指導者の活用」は、どの項目にもご意見をいただきました。SB指導体制を持続可能なものとしていくためには、指導体制の確立が必要です。外部機関と連携し、継続的に学校の授業時間に指導していただける指導者の確保に努力していきます。

以上のことを踏まえ、SBを継続させるためには、使用する楽器を段階的に変更し、活動を進めることといたしました。

これまで、アンケートを含め、校内SB委員会、PTA本部役員会や学校運営協議会など、ご意見を伺う機会が何度かありました。その中には、伝統を継続してほしいという強い思いをもった意見も多くありました。また、SBの管楽器や衣装については100周年記念の事業として、同窓会名簿の作成、二宮金次郎像の建立とあわせて贈呈されたものとも伺っております。当時、行政からの支援や地域企業、同窓生の皆様方からの協賛金など、多大なご協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

しかしながら、学校においては、ここ数年、学習指導要領の改訂や児童数の減少、指導者の確保や校内体制の整備など、様々な課題が議論されてきております。簡単に結論ができる内容でもなく、会議をするたびに賛否両論となりました。アンケート結果につきましても同じように賛否が分かれました。どの意見も思いは強くあります。その思いは真摯に受け止めたいと思います。

そのような中ですが、この先を考えた場合、全教員が指導できる楽器に変更することで継続しできる、などを含め、総合的に判断し、上記結論に達しました。

楽器は変わりますが、これまで同様、平和音楽大行進には子どもたちの元気な演奏を披露いたしますので、沿道での応援をよろしくお願いいたします。

尚、具体的な移行計画、衣装、移行後の管楽器の有効活用については、今後も協議を続けていきます。

これまでの協議やアンケート調査へのご協力、ご意見を寄せてくださった方々に、心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

名寄市立名寄小学校長 大谷 和 範

